

平成 26 年 9 月 吉日

各 位

OATアグリオ株式会社

除草剤「モーレツ 1 キロ粒剤」の新規登録認可のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご協力を賜りました除草剤のモーレツ 1 キロ粒剤の農薬登録が平成 26 年 9 月 24 日付にて認可されましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

今後とも、皆様のご指導ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

商品名 : モーレツ 1 キロ粒剤 (第 2 3 5 2 7 号)

有効成分・% : ピラクロニル・2.0%、ベンゾビスクロン・2.0%、ベンフレセート・5.0%

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ヒルムシロ(近畿・中国・四国を除く) ミスガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道、東北)	移植後 5 日～ ノビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	砂壤土～ 埴土	1 kg /10a	1 回	湛水 散布	東北、北陸
			壤土～埴土				北海道、関東・東山・東海、近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯
		移植後 5 日～ ノビエ 2 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	九州の普通期及び早期栽培地帯				

ピラコニルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシロンを含む 農薬の総使用回数	ペンフレートを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

〔使用上の注意事項〕

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期（九州は2葉期）までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ（北海道、東北、関東・東山・東海は発生始期まで）、ヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期までが本剤の散布適期である。
- (3) 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田（減水深2 cm/日以上）では、薬害を生ずる恐れがあるので使用しないこと。
- (4) 本剤は水の出入りを止めて湛水状態で均一に散布すること。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- (5) 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- (6) 移植水稻を栽培した後にいぐさを栽培する水田では使用しないこと。
- (7) 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないこと。
- (8) 容器等は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (9) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

〔安全使用上の注意事項〕

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

〔水産動植物に関する注意事項〕

- (1) 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- (2) 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 散布後は水管理に注意すること。
- (4) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

[貯蔵上の注意事項]

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。